



第1号

～10月は木材利用促進月間～

講演会・展示
も行います



木材利用優良建築物を表彰します

横浜市では、脱炭素社会の推進に向けて、今年度、木材利用に積極的に取り組んだ建築物を表彰する制度を創設しました。この度、木材利用優良建築物 第1号として、日本初の高層純木造耐火建築物である株式会社大林組の『Port Plus 大林組横浜研修所』を決定しましたので表彰式を行います。

○表彰式 申込制

令和4年10月6日(木)13:30～14:10

場所:市庁舎1階市民協働推進センター(スペースA・B)

イベント概要(詳細は別紙をご参照ください)

建築物への木材利用に関する講演会や先進的な木造技術の展示を行います。

1. 講演会 申込制

令和4年10月6日(木)14:20～15:30

場所:市庁舎1階市民協働推進センター(スペースA・B)

【講演会①】木づかいで人も地球も健やかに！ ～データで見る「建物に木材を使うメリット」～

講師:東京大学大学院農学生命科学研究科教授 恒次 祐子氏

【講演会②】中層建築物への木材利用に関する技術の情報提供

講演:ナイス株式会社*

※横浜市はナイス株式会社と木材利用促進について包括連携協定を締結しています

2. 展示

令和4年10月6日(木)10:00～17:00

場所:市庁舎1階市民協働推進センター(スペースA・B)

先進的な木造建築物や公共建築物等に関するパネルや模型、動画の紹介等

3. 期間中常設展示

【前半】令和4年9月28日(水)～10月5日(水) テーマ:「木の良さを伝える」

【後半】令和4年10月7日(金)～10月14日(金) テーマ:「先進的な木造技術」

場所:市庁舎1階展示スペースB

4. 申込方法

横浜市電子申請サービスからお申込みください。(参加費無料、定員50名、先着順)

<URL>

<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/f176879b-3b58-4910-9f0d-a18b54c5bdc3/start>

5. 10月6日の取材について

10月3日(月)17:00までに、下記問合せ先までご連絡ください。

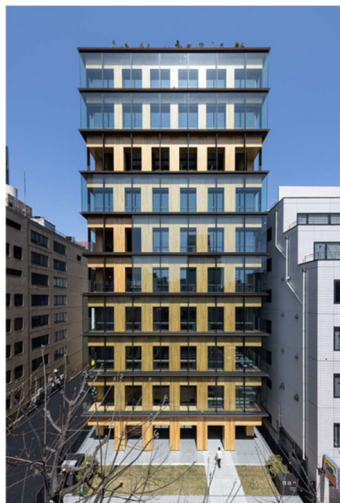
お問合せ先

建築局企画課長 加藤 暢一 Tel 045-671-3627

裏面あり

表彰対象建築物「Port Plus 大林組横浜研修所」について

【建物概要】



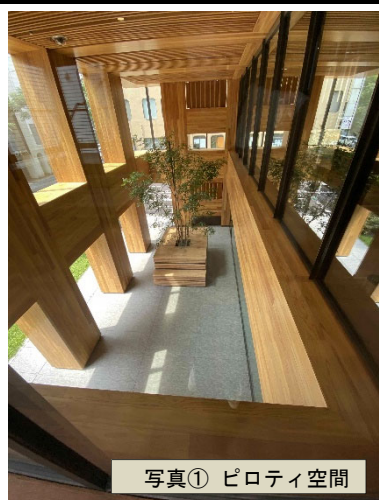
建物名称	Port Plus 大林組横浜研修所
所在地	横浜市中区弁天通二丁目 22 番、23 番
建築主	株式会社大林組
設計施工	株式会社大林組
延床面積	3,502.87 m ²
構造	木造
規模	地上 11 階、地下 1 階
用途	研修所
竣工	令和 4 年 3 月
CASBEE 横浜評価	S ランク
木材使用量	1,991.4 m ³ (床面積当たり : 0.56 m ³ /m ²)

【木材利用に関する評価結果】

「Port Plus 大林組横浜研修所」は、以下のとおり、建築物への木材利用に関し、顕著な功績があると認められます。

木材利用評価

S



写真① ピロティ空間



写真② 宿泊室

本建築物は、地上 11 階、地下 1 階で、3 時間耐火性能や環境性能、耐震性能を兼ね備えた、先進的な木造技術が採用された日本初の高層純木造耐火建築物です。

木材の使用量は 1,991.4 m³で、そのうち 7 割以上が国産材であり、脱炭素化に加え、「伐って、使って、植える」という国内の森林資源の循環利用にも大きく貢献しています。また、二酸化炭素の貯蔵量は 1652.8t-CO₂ であり、横浜スタジアム 50 個分の森林面積に相当します。

省エネ性能においては Z E B R e a d y を取得しており、太陽光発電設備や、断熱性の高いダブルスキン、床吹出の空調方式、自動制御ブラインド等、様々な環境配慮技術が導入されており、建築物の環境性能を総合的に評価する **CASBEE 横浜で最高の S ランク** の評価となっています。また、純木造であることで、建設中の粉塵や騒音等の環境負荷が少ないことも特徴のひとつです。

【量の評価】：レベル 4（基準値 0.1 m³/m²以上）

延床面積 1 m²あたりの**木材使用量は 0.56 m³/m²**です。この数値は本評価制度における**最高レベルの基準値 0.1 m³/m²の 5 倍以上**です。

【質の評価】：レベル II（評価基準への対応数 3）

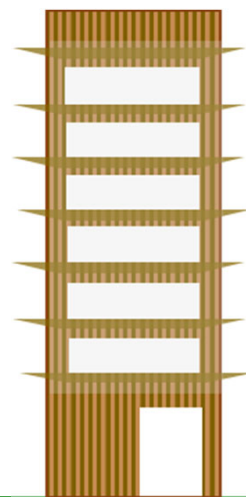
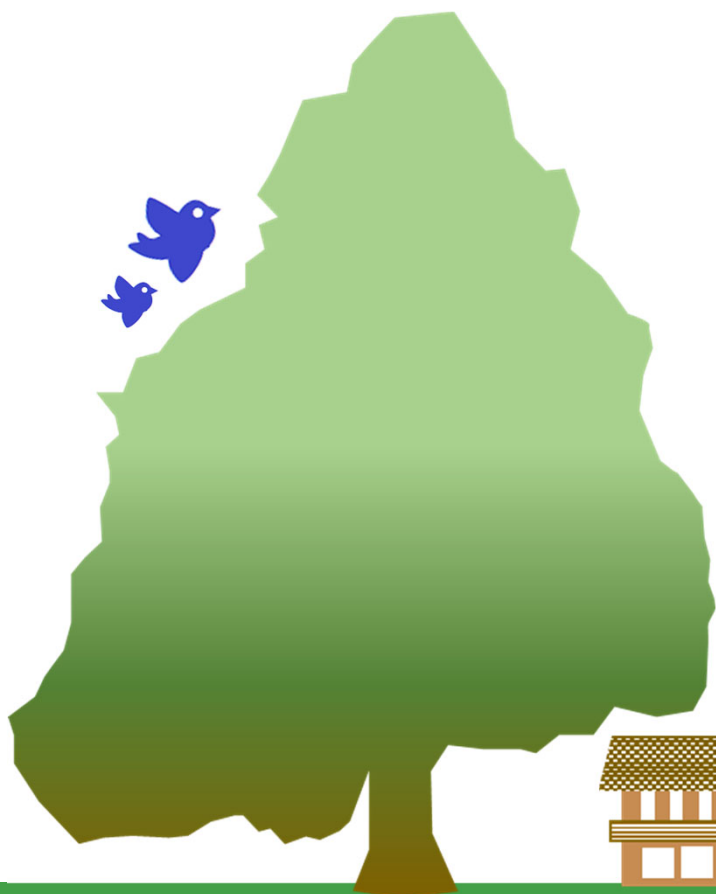
建築物の外装は木造の構造躯体を外部から容易に認識できる設えとし、建築物への木材利用に関する情報発信を効果的に行っています。公開空地から連続した吹き抜けのピロティ空間（写真①）には、樹木と、CLT でつくられたベンチを配置し、木造の柱、梁、天井に囲まれた憩いの空間が形成されています。また、宿泊室（写真②）はリラックス効果を高めるため、床、テーブル、ブラインド等、木材をふんだんに使用するほか、木材が睡眠の質に与える影響の分析を行うなど、健康や快適性向上効果を最大限に引き出す取組を行っており、**レベル II（評価基準への対応数 3）**に適合します。

【木材利用評価】：S

以上から、本建築物は、**木材利用評価は S** に適合し、木材利用優良建築物等の評価及び表彰に関する要綱第 4 条第 2 項第 1 号及び第 2 号に該当するため、同条第 1 項に定める表彰対象として決定します。

建築物の木造化 と 木質化

～木を知る、木をつかう～



表彰式
講演会
展示

10/6(木)

13:30～15:30(表彰式・講演会)

10:00～17:00(展示)

@横浜市庁舎1階

市民協働推進センター(スペースA・B)

表彰式・講演会
申込



申込期限9月30日
定員50名

期間中
常設
展示

前半：9/28(水)～10/5(水)

後半：10/7(金)～10/14(金)

@横浜市庁舎1階 展示スペースB

入場無料

問合せ 横浜市建築局企画課

〒231-0005横浜市中区本町6丁目50番地の10 市庁舎24階

☎045-671-3655

横浜市庁舎案内図



10/6(木) 表彰式・講演会 申込制

@横浜市庁舎1階
市民協働推進センター(スペースA・B)

13:30～(40分) 表彰式

第1回 木材利用優良建築物等表彰
「Port Plus 大林組横浜研修所」
(株式会社大林組)
日本初の高層純木造耐火建築物

14:20～(45分) 講演会



つねつぐ ゆうこ
講師：恒次 祐子氏
東京大学大学院農学生命科学研究科教授

木づかいで人も地球も健やかに！
～データで見る「建物に木材を使うメリット」～

15:10～(20分)

中層建築物への木材利用に関する技術の情報提供

講演：ナイス株式会社

下記のアドレスか二次元バーコードからお申し込みください。

<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/f176879b-3b58-4910-9f0d-a18b54c5bdc3/start>

申込期限
令和4年9月30日(金) 定員50名



木材利用促進月間とは？

国民の間に広く木材の利用の促進についての関心を高めるため、漢字の「十」と「八」を組み合わせると「木」になることにちなみ、10月8日を木材利用促進の日、10月を木材利用促進月間として法律に定められています。

期間中常設展示

@横浜市庁舎1階 展示スペースB

前半：9/28(水)～10/5(水)

<テーマ>

木の良さを伝える

【展示内容】

木の良さ説明パネル、
市内事例紹介パネル、
構造躯体模型 など

後半：10/7(金)～10/14(金)

<テーマ>

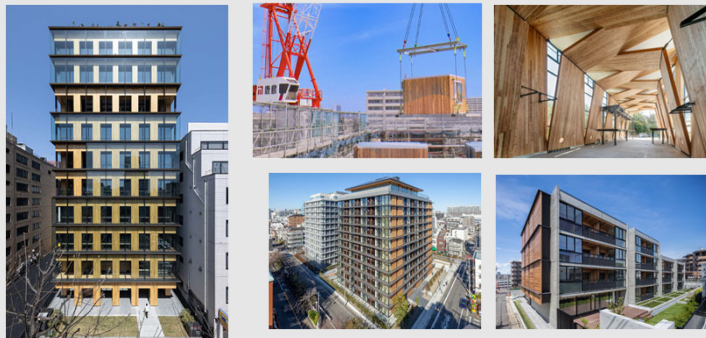
先進的な木造技術の紹介
表彰建築物展示

【展示内容】

事例紹介パネル
表彰建築物紹介パネル
など

10/6(木) 展示

@横浜市庁舎1階
市民協働推進センター(スペースA・B)
10:00～17:00



先進的な木造建築物の取組をご紹介します。
合わせて公共建築物や、公共建築100周年事業に関する展示も行います。

【展示内容】
建築物の写真・事例を紹介したパネル、構造模型、
技術動画 など